① 財政調整基金現在高 目標:50 億円(R8 年度末)

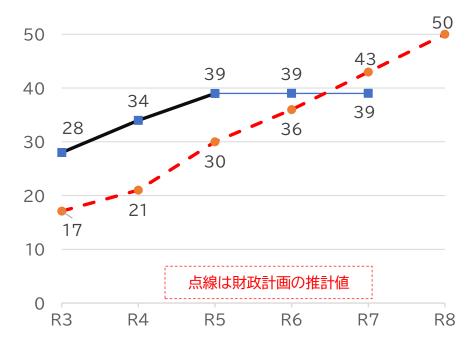
8 年度末残高 50 億円の目標達成に向け、順調に推移している。

今後も、決算剰余金の一部を財政調整基金に積み立てていく。

② 経常収支比率

人事院勧告等を踏まえた人件費の増や、障がい福祉サービス等の扶助費の増により、財政計画の推計値よりも高い水準での推移が見込まれる。

【単位:億円】



【単位:%】

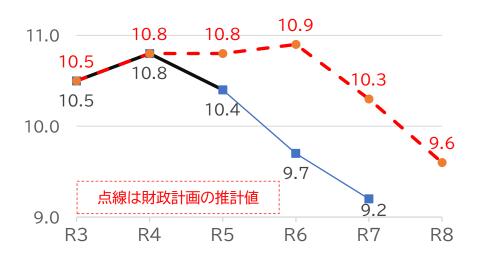


③ 実質公債費比率

過年度に市債の繰上償還を実施したことにより、財政計画の推計値よりも低い水準での推移を見込んでいる。 しかしながら、借入利率の上昇に伴う利子償還額の増加による影響が懸念される。

【単位:%】

12.0



④ 市債残高(一般会計)

ごみ処理施設整備事業等の大型公共事業の実施により、 5年度からは増加している。

7 年度予算においても大型公共事業の進捗に伴う借入などによる増加が見込まれる。

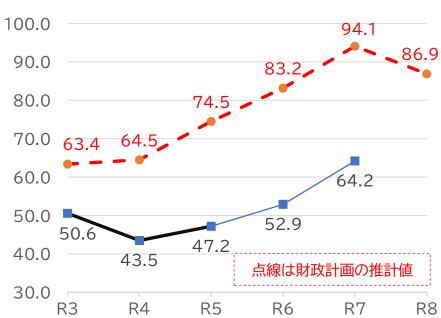
【単位:億円】※臨時財政対策債を除く



⑤ 将来負担比率

財政調整基金等の積立による基金現在高の増や過年度 に市債の繰上償還を実施したことなどにより、財政計画 の推計値よりも低い水準となっているものの、大型公共 事業の実施による市債残高の増加に伴い、7年度予算に おいても上昇が見込まれる。

【単位:%】



⑥ プライマリーバランス

5 年度は交付税措置のない市債の借入抑制等により 黒字を維持した。

7年度予算では、大型公共事業の実施に伴う借入等により赤字になると見込まれる。

【単位:億円】

